

南海トラフ地震や上下水道行政で

技術士会 中国本部 水コン協と共催で講演会

日本技術士会中国本部
上下水道部会（部会長 若岡信利・テクノコンサ
ルトアント技師長）はこの
ほど、全国上下水道コン
サルタント協会中国・四
国支部との共催で、講演



三浦名誉教授



若岡部会長



新見課長



飯田調整官

会を広島市内の会場とオ
ンラインで開催した。同
部会設立10周年の節目
で、当初は8月開催予定
だったが、台風の影響で
延期となっていた。この
日は官学から3題の講演

が行われ、会員ら合計約
100人が聴講した。
冒頭、若岡部会長が「い
ずれも非常に興味深い内
容で、貴重な知見を得ら
れる機会に」とあいさ

つ。講演会では三浦房紀・
山口大学名誉教授が「南
海トラフ巨大地震に備え
る」と題し、基調講演を
行った。

三浦名誉教授は最近の



中国本部上下水道部会設立10周年で記念撮影

地震被害など
を踏まえ、南
海トラフ巨大
地震や首都直
下地震の発生
が迫っている
と指摘。冬・
深夜や夏・昼
など南海トラ
フ巨大地震の
被害想定結果
などを紹介し
ながら、津波
到達までを考
慮した避難体
制の重要性な
どを強調し

た。
また、電磁波や電離層
の異常観測による地震予
知研究とともに、準天頂
衛星システムとラジオ放
送で全国一斉に災害・防
災情報を流し、共有でき
る可能性を示唆。「防災
対策は最初から完全を求
めず、家庭の防災なども
重要」とまとめた。
飯田博英・国土交通省
中国地方整備局河川部上
下水道調整官の講演「今
後の上下水道行政と最近
の話題」では、水道整
備・管理行政の移管や、
水道事業の予算制度など
を紹介。最近の話題では
広域連携・官民連携の必
要性や適切な維持管理の
推進、環境エネルギー対
策、先端技術の活用、災

害対策・危機管理などを
解説した。
また、下水道事業の予
算および最近の話題で
は、汚泥資源肥料利用推
進事業や特定水域合流式
下水道改善事業、浸水対
策、ウォーターPPPの
推進、脱炭素化などの取
り組みを列挙。強靱で持
続可能な上下水道システ
ムの構築を図っていくと
まとめた。
新見一郎・広島市水道
局技術部維持課長は「技
術者に求められる総合的
な問題解決能力」とし
て、2009年に立ち上
げた「技術士を目指す人
の会」の活動内容などを
説明。勉強の手順や情報
整理、文章作成などのコ
ツを紹介した。